

県政情報ホームページを音声情報化 ほか

香 川 県

○ 取組の概要

障害等によりインターネットを閲覧できない人、パソコンを使わない（使えない）人なども県政情報入手できるよう、県政情報ホームページの内容の一部を音声化。

○ 香川県の概要



香川県の概要

県庁所在地

●香川県高松市番町4-1-10

人口

●1,027,405人

※H17.3.31現在（住民基本台帳人口）

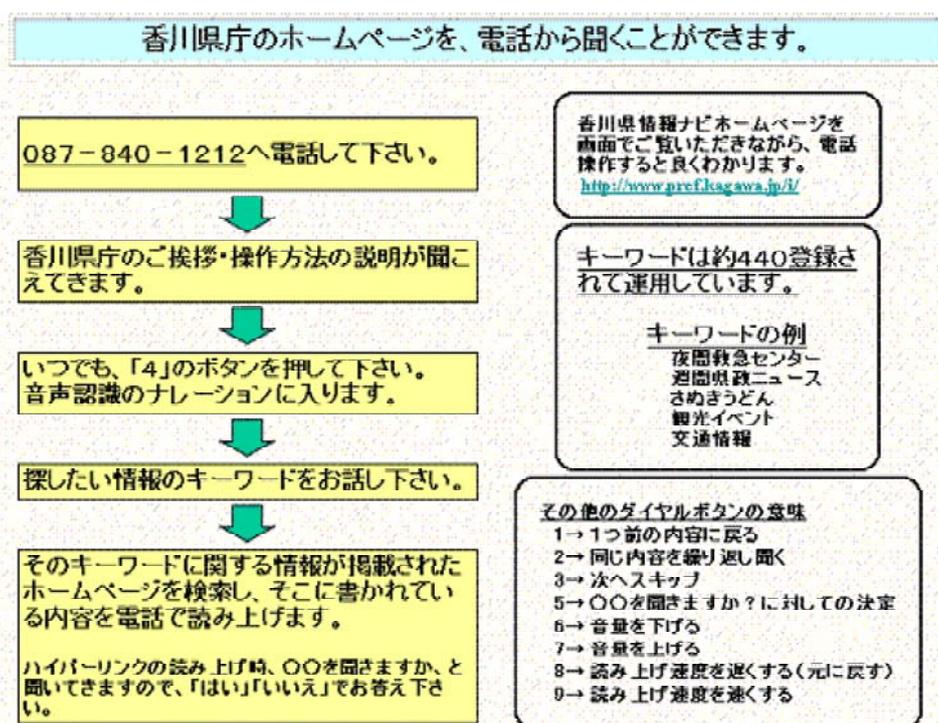
〇 取組について

1. 取組の背景

- インターネットに代表される IT の普及により、社会全体の情報化が急速に進む中であって、障害等によりパソコン等の情報機器が使えない人やインターネットを閲覧できない人、パソコン等の情報機器を所有していない人などが情報化の恩恵を受けられないという情報格差（デジタルデバイド）の問題が顕在化してきている。そこで障害等の有無にかかわらず、すべての人が等しく情報を入手、活用し、社会参加や社会的自立の支援となるような技術や情報の社会化が必要である。

2. 取組の具体的内容

- 香川県では、平成 13 年 4 月から全国で初めて、地元企業が開発したテレフォンプラウザ・システムを利用し、携帯電話版ホームページ“香川県情報 NAVI”の情報を電話音声で提供している。視覚障害者や高齢者など、またパソコンがない場所から、携帯電話や固定電話を通じて、ホームページ情報にアクセスできることから、情報のバリアフリーにつながっている。
- 音声化されるのは、同県 HP のうち携帯電話のメニュー画面からアクセスできるようにした部分で、イベントなど各種お知らせを集めた「情報ボックス」、讃岐うどん情報などを掲載した「観光・特産品・味」など 9 項目である。



資料) 香川県ホームページより

- ・また、同企業が開発したウェブ記述言語を音声に変換するシステムを用いているため、HPが更新されれば自動的に電話応答も変わる。
- ・これ以外に、平成16年3月には、ホームページをユニバーサルデザイン化し、子どもから大人、高齢者や障害者など誰もが見やすいものとしている。

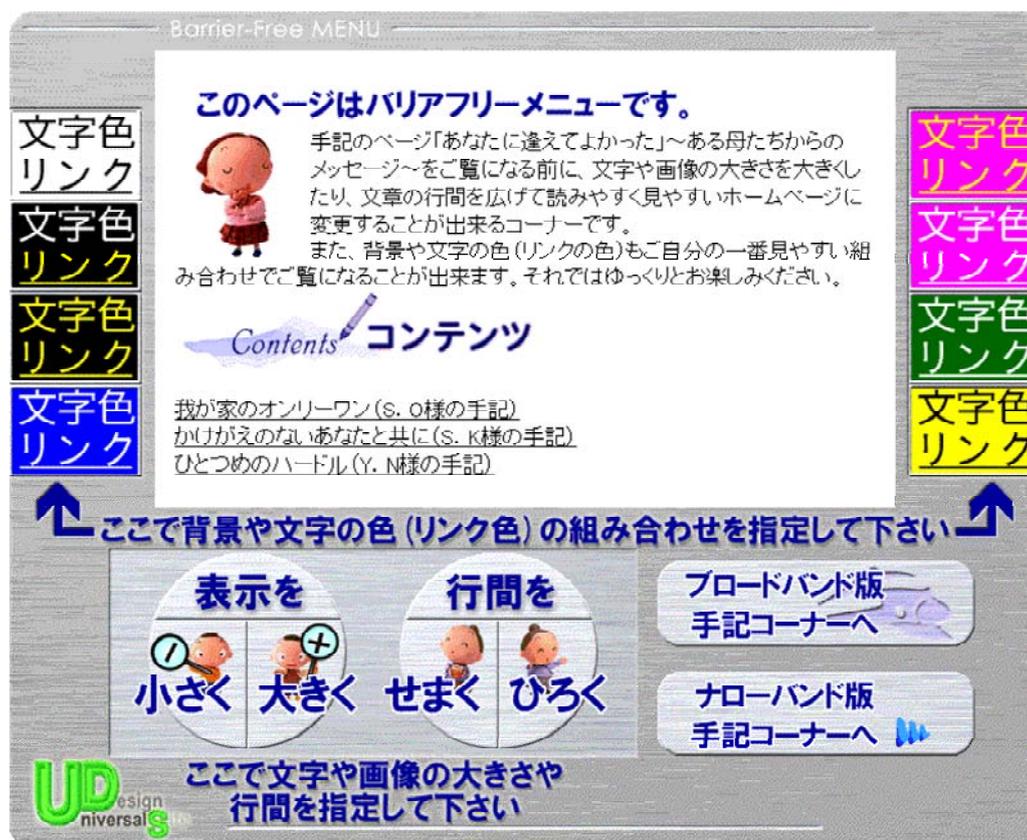
[誰もが見やすいホームページ]

- ・ホームページを見る人が、自分にとって見やすいデザインを選択できるようにしている。例えば、中高年以上や、弱視、色覚障害の方には、見やすいように、文字の拡大や背景・文字の色指定、行間設定が自由にできる。また、全盲の人などが、ホームページの情報にアクセスする際に利用する音声読み上げソフトに対応している。さらに、子どもや大人、若者など誰もが見やすいように配慮して、専用のデザインを用意している。

[作成作業の省力化]

- ・情報の内容は、あくまで1種類であるため、見る人に応じて、ホームページを数種類も作成する必要はない。これを高齢者や障害者、子ども向けや大人向けなどに自動的に切り替えて表示できるシステムを、NPO提案型協働事業委託事業で開発した。

[画面カスタマイズメニューの画面 (一例)]



(資料) 香川県ホームページより

3. 取組にかかる事業費

【音声情報化】

- ・ 地元企業が開発したテレフオンブラウザ・システムを利用した。テレフオンブラウザ・システムのサーバーについては、地元企業に設置し、レンタルサーバーとして運用している。

年間運用費 116 万円

【ユニバーサルデザイン化】

- ・ 平成 15 年度香川県 NPO 提案型協働事業委託事業として事業採択し、55 万円で開発委託した。

〔平成 15 年度香川県 NPO 提案型協働事業委託事業〕

NPO（市民活動団体、ボランティア団体又は NPO 法人を言う。以下同じ）と行政との協働を推進し、NPO の特性を活かした県民サービスを提供するため、NPO から協働事業の企画案を募り、この中から実施可能であり、公益性や効果の高い事業を提案した NPO とその事業について委託契約を締結して実施するもの。

4. 取組の体制

【音声情報化】

- ・ 平成 13 年にテレフオンブラウザ・システムを開発した地元企業からの提案があり、デジタルデバイドの解消に向けた取り組みができるとの判断から香川県広聴広報課と健康福祉総務課では「香川県情報 NAVI（携帯電話サイト）」を使用し、音声提供システムの試験運用を行った。この音声提供システムは、開発した地元企業の協力により全国初のホームページの音声提供システムとして試験ではあるが運用を開始することとなった。
- ・ 平成 14 年度からは、情報に効率的にアクセスするためのキーワードを随時、登録するなど、開発した地元企業と委託契約を結び本格運用を行っている。
- ・ また、平成 13 年 11 月には、香川県として、テレフオンブラウザ・システムを「ドコモ・マルチメディアフェスタ」に出展し、デジタルデバイドの解消に向けた県の取り組みとして広く紹介した。

【ユニバーサルデザイン化】

- ・ ホームページのユニバーサルデザイン化を実現するシステムを開発するため、ユニバーサルデザイン化を提唱し平成 15 年度香川県 NPO 提案型協働事業委託事業の採択を受けた NPO と香川県健康福祉総務課、障害福祉課及び提案募集を行った県民参画課とが事業対象の内容・範囲などを綿密に打合せ、ユニバーサルデザイン化したモデルホームページを作成した。
- ・ 現在は、同 NPO が中心となり、同システムを活用したホームページのユニバーサルデザイン化への取り組みが行われている。

5. 取組の成果

【音声情報化】

- ・ 本格運用開始移行、月間平均約 350 件の利用がされており、障害者や高齢者などのデジタルデバイドを解消し、ウェブアクセシビリティ（高齢者や障害者など、心身の機能に制約のある人、またウェブサイトへアクセスできる環境に制限があるような人でもウェブで提供されている情報に問題なくアクセスし利用できること）を確保するための有用な手段となっている。

【ユニバーサルデザイン化】

- ・ NPO 提案型協働事業委託事業として作成したホームページが、モデルとなり、ユニバーサルデザインを採用した県のホームページとして、平成 17 年 4 月には、ボランティア・NPO 関係の情報や社会貢献活動を行う企業や地域コミュニティの情報を掲載したホームページ「共助ネットかがわ」の開設や、5 月には、香川県の障害者福祉に関する情報を提供するホームページの開設がされた。今後も、ユニバーサルデザイン化されたホームページを増やす予定である。

6. 今後の課題

- ・ インターネットは、もはや生活の必需品として、各種情報の収集やコミュニケーション、ビジネスの道具として広く日常生活の中に浸透している。外出などに制約を受ける障害者や高齢者にとっては、自宅において情報を入手・共有・発信するための有用な手段となっており、ホームページのユニバーサルデザイン化やウェブコンテンツ JIS 対応（高齢者や障害のある人が利用可能なウェブコンテンツ（ホームページなど）を企画、設計、開発、制作、保守、運用するとき配慮すべき事項を示した指針。「高齢者・障害者等」の「等」には、パソコン初心者などパソコンに不慣れな人も含まれる。）のホームページの社会全体への普及が望まれる。（香川県ホームページの内、主要なページは、平成 16 年 7 月にウェブコンテンツ JIS に対応。）
- ・ また、香川県では、障害者に役立つ情報や障害への理解を深める情報を掲載した県のホームページの作成を、障害者が在宅で行う事業を平成 14 年度から行っている。また、平成 16 年度からは、障害者の在宅就労につながる技能の習得を支援するため、ホームページ作成などの IT 講習会を開催する事業を行っている。インターネットを活用することにより、外出などに制約を受ける障害者が、在宅就労の形態でホームページを作成し、収入を得ることが可能であり、障害者の社会参加や社会的自立につながることを期待される。